

平成22年度第1回

八王子市市史編集委員会

日時：平成22年6月20日（日）

午後3時から

場所：男女共同参画センター会議室

【次第】

1. 開会

2. 専門部会の活動状況について

資料1 市史編集専門部会調査活動報告

3. 平成22年度年間事業計画について

資料2 平成22年度市史編さん室の年間事業計画

4. 『市史研究』の刊行について

資料3 『市史研究創刊号』の概要について

5. 市史資料編の刊行準備について

資料4 市史本編・資料編刊行に伴う統一事項について（案）

6. その他

7. 閉会

市史編集専門部会調査活動報告

(平成22年3月～6月分)

部 会 名	平成 21 年度 第 2 回 原始・古代部会 実踏調査	開催（実施）日時 平成 22 年 3 月 21 日（日） 午前・午後 9 時 00 分～ 午前・午後 17 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 関 和彦 部会委員 及川良彦 竹花美保 専門調査員 服部敬史 横田深雪 黒田智章 【事務局】新井雅人	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>夏季の第 1 回実踏調査（市内南部）に続き、市内北部地域の実踏調査を行った。各地で古墳等の現地調査や遺跡周辺の景観調査を行った。</p> <p>実踏調査コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．宮田遺跡（川口町） 2．川口兵庫介館跡 3．川口古墳 4．川口やまゆり館内展示土器 5．由比牧推定地、由比牧の碑（貳分方町） 6．西蓮寺（大楽寺町） 7．鹿島古墳（榎原町） 8．榎原遺跡 9．中田遺跡 10．宇津木向原遺跡 11．北大谷古墳 12．大和田横穴墓群 13．石川天野遺跡 14．宇津木台遺跡群 15．日野七ツ塚古墳（日野市新町） <p>【配付資料】 原始・古代部会市内遺跡巡検資料 2010.3.21（日）</p>		

部 会 名	平成 22 年度 第 1 回 原始・古代 部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 4 月 5 日（月） 午前・ 午後 6 時 00 分～ 午前・ 午後 8 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟、及川良彦、黒尾和久、竹花美保、深澤靖幸 専門調査員 服部敬史、横田深雪、黒田智章、紺野英二 【事務局】佐藤広 新井雅人	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．資料編掲載遺跡及び重要度（案）の決定について 前回提示した掲載遺跡案をもとに検討。一部変更のうえ案を決定し、この案で解説執筆を進めることとする。</p> <p style="padding-left: 40px;">変更点 館町遺跡（湯殿川 No32）の内容に、「館町 515 遺跡」の奈良・平安時代を加えて記述する。重要度を「C - 2 ページ」「B - 4 ページ」に変更する。 多摩ニュータウン遺跡の名称を「多摩ニュータウン No. 遺跡」に統一する。</p> <p>2．遺跡資料（解説）の執筆分担について 原則として各時代の担当者が執筆することとし、担当者が協力を仰ぎたい人物がいる場合には協力を依頼することで進めることとした。また、時代ごとの概説、流域ごとの概説部分についても執筆分担を行った。</p> <p>3．執筆の要領について 関部会長、服部専門調査員、事務局で協議し、案を作成する。次回の会議に、案及びその案に従って記述した文章を提示する。</p> <p>【配付資料】八王子市史 原始古代資料編 資料編の執筆分担（案）</p>		

部 会 名	平成 22 年度 第 2 回 原始・古代 部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 5 月 1 0 日（月） 午前・ 午後 6 時 30 分～ 午前・ 午後 8 時 10 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟、及川良彦、竹花美保、深澤靖幸 専門調査員 服部敬史、横田深雪、黒田智章、紺野英二 【事務局】佐藤広 新井雅人 長谷部晃一	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．資料編の執筆分担について</p> <p>原則として、別紙「八王子市史 原始古代資料編 資料編の執筆分担(案)」のとおりとするが、旧石器時代は竹花委員、弥生時代は及川委員、古墳時代は池上委員とする。奈良・平安時代については谷地川・多摩川流域 35 番谷野瓦窯遺跡、大栗川流域 51 番多摩NT No.107 遺跡・52 番多摩NT No.446・54 番多摩NT No.436・59 番白山神社経塚群遺跡については深澤委員とし、それ以外については専門調査員の 3 人の分担とする。縄文時代については黒尾委員に後日確認することになった。</p> <p>2．資料編執筆要項(案)について</p> <p>原則として、別紙「八王子市史 原始古代資料編 執筆要項(案)」のとおりとするが、2.(5)の難読文字のルビの振り方については後日調整することになり、5.(1)の参考文献の表記は「著者名、発行年(西暦)、タイトル」のように表記することになった。</p> <p>3．その他</p> <p>中世部会から中世考古の資料の抽出、分類等について、原始古代部会の協力を得たいとの話があり、新たに中世部会に調査員を推薦し、資料抽出・分類の手法を伝える等の協力を図っていくことになった。</p> <p>【配付資料】</p> <p>八王子市史 原始古代資料編 資料編の執筆分担（案） 八王子市史 原始・古代資料編 執筆要項（案）</p>		

部 会 名	平成 21 年度中世部会 第 3 回会議 第 6 回実踏調査	開催（実施）日時 平成 22 年 3 月 28 日（日） 午前・午後 10 時 30 分～ 午前・午後 5 時 まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 櫻井 彦 加藤 哲 【事務局】新井雅人 柳沢 誠	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．平成 21 年度中世部会活動の報告</p> <p>2．平成 22 年度活動予定の検討</p> <p>構成案をもとに、資料編掲載資料の範囲と点数について検討。また平成 22 年度の調査予定について検討。</p> <p>（1）夏季集中調査について</p> <p>谷地川流域、加住地区を中心とした滝山城下復元追跡調査を行なう。</p> <p>平成 22 年 8 月 20 日（金）～22 日（日）を予定。</p> <p>（2）市外資料調査について（9 月頃を予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥根県立古代出雲歴史博物館収蔵の鳥根県大田市南八幡宮の経筒（大石氏の銘あり） ・山口県立文書館所蔵天野氏関係文書 <p>3．由木地区実踏調査</p> <p>（1）清鏡寺（大塚）</p> <p>観音堂安置の木造十一面観世音菩薩立像（都指定有形文化財）拝観。</p> <p>天正 18 年 5 月（1590）豊臣秀吉禁制の閲覧調査</p> <p>（2）蓮生寺（別所）</p> <p>薬師堂拝観。</p> <p>（3）浅間神社（松木）</p> <p>松木七郎の宝篋印塔（永和 2 年〔1376〕銘。市指定有形民俗文化財）見学。</p> <p>（4）大石信濃守館跡（松木）</p> <p>（5）永林寺（下柚木）</p> <p>境内見学（大石定久他代々の墓、由木城跡ほか）</p> <p>（6）白山神社（中山）</p> <p>【配布資料一覧】</p> <p>1．八王子市市史編集専門部会中世部会平成 21 年度第 3 回部会会議資料</p> <p>2．『新編武蔵国風土記稿』多摩郡 3 巻（文献出版、1995 年）より、関係箇所</p>		

部 会 名	平成 22 年度中世部会 第 1 回会議	開催（実施）日時 平成 22 年 4 月 24 日（土） 午前・午後 11 時 ~ 午前・午後 4 時 まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 櫻井 彦 原始・古代部会委員 深澤靖幸 【事務局】新井雅人 長谷部晃一 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 1．事務局より報告（前回会議のまとめ等） 2．「八王子市域所在の資料、市域関係の地名・人名関係資料データ」の配布と調査方針の検討 3．八王子市域の中世考古分野についての検討 原始・古代部会の深澤靖幸委員に出席して頂き、八王子市域の代表的な中世考古遺跡（遺物・遺構）についての報告を得た。これをもとに中世部会担当範囲における中世考古の扱いについて検討した。 中世資料編の考古分野については、深澤靖幸委員を中心に、他の考古学の専門家に加わっていただき、掲載遺跡の選択と執筆を担当していただくこととした。 【配布資料】 1．八王子市市史編集専門部会中世部会平成 22 年第 1 回部会会議資料 2．八王子市域地名・所在文書・金石データ（仮）		

部 会 名	平成 22 年度中世部会 第 1 回実踏調査	開催（実施）日時 平成 22 年 5 月 16 日（日） 午前・午後 10 時 00 分～ 午前・午後 5 時 まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 櫻井 彦 加藤 哲 専門調査員 徳永裕之 【事務局】新井雅人 柳沢 誠	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>恩方地区の実踏調査を行なった。資料の調査および所在確認も実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 熊野神社（上恩方町上案下） 2. 福源寺（上恩方町上案下） 板碑 1 基調査（『八王子市の板碑』に収録） 3. 龍泉寺（上恩方町森久保） 鉄造聖観音菩薩立像（市指定有形文化財）他の調査 4. 浄福寺（下恩方町松竹） 棟札・厨子背板等の調査および聞き取り 5. 興慶寺（上恩方町狐塚） 五輪塔等の調査 6. 宮尾神社（上恩方町宮下） 7. 薬師堂（上恩方町力石） 板碑 2 基調査（『八王子市の板碑』に収録） <p>【配布資料一覧】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 八王子市市史編集専門部会中世部会平成 22 年度第 1 回実踏調査資料 （『新編武蔵国風土記稿』多摩郡 3 巻〔文献出版、1995 年〕、縣敏夫『八王子市の板碑』〔揺籃社、2005 年〕等から実踏関係箇所を抄録） 		

部 会 名	平成 22 年度第 1 回 近世部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 4 月 1 日（木） 午前・ 午後 2 時 00 分から 午前・ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	藤田 覚	専門員氏名
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 藤田 覚 部会委員 神立孝一 光石知恵子 山崎 圭 専門調査員 鈴木直樹 北村厚介 【事務局】新井雅人 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．事務局による史料調査について（報告）</p> <p>（1）市内南部史料所在調査</p> <p>借用・整理済 2 軒 約 1,300 点 借用・整理中 7 軒 約 7,800 点 借用交渉中 2 軒</p> <p>（2）市内北部史料所在調査</p> <p>借用・整理済 1 軒 約 1,800 点 借用交渉中 2 軒</p> <p>（3）その他史料調査</p> <p>江戸東京博物館所蔵「石井コレクション」中、八王子関連史料 98 点収集</p> <p>2．他自治体史における八王子関連史料（記述）の抽出作業</p> <p>三多摩地域の自治体史について作業継続中。年度内を目途に進める</p> <p>三多摩地域以外については神奈川、山梨、群馬、福島等から八王子に関連の深い自治体を抽出して行う。</p> <p>3．宗門人別改帳の分析およびデータ化</p> <p>専門調査員を中心に作業を進める。</p> <p>4．検地帳、村明細帳の扱いについて</p> <p>市史本編、資料編とは別に「資料集」として刊行できないか検討する。</p>		

5. 勉強会

報告者：藤田 覚部会長

内 容：近世前期の養蚕・製糸・織物について

【配付資料一覧】

1. 平成 22 年度第 1 回近世部会会議 資料
2. 「近世前期の養蚕・製糸・織物について」レジュメ

部 会 名	平成 22 年度近世部会 第 2 回会議	開催（実施）日時 平成 22 年 6 月 4 日（金） 午前・ 午後 3 時 から 午前・ 午後 5 時 まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	藤田 覚	専門員氏名 大木悠佑
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 藤田 覚 部会委員 神立孝一 山崎 圭 光石知恵子 専門調査員 鈴木直樹 北村厚介 【事務局】佐藤 広 新井雅人 長谷部晃一 大木悠佑 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 1. 事務局報告 (1) 調査等の進捗状況について ア. 資料所在調査の進捗状況について 由木地区 整理済・返却 1 軒 約 350 点（マイクロ撮影完了） 借用・整理済 2 軒 約 950 点（約半分マイクロ撮影完了） 借用・整理中 7 軒 約 7,800 点（うち 2 軒約 900 点は一時返却） 現地にて整理済 1 軒 約 130 点 加住地区 整理済・返却 1 軒 約 1800 点（マイクロ撮影完了） 由井地区 予備交渉先 8 件 市内北部 交渉中 1 軒 イ. 周辺自治体史めぐり作業の進捗状況について 他自治体の自治体史刊行物より近世八王子関係の記述を調査中。 三多摩地区 3 3 自治体中 1 6 件終了 5 件作業中 周辺自治体・都外 5 3 自治体中 3 件終了 5 件作業中 八王子関連記述を検出する際の留意点について検討。 ウ. 宗門人別帳データ化作業の進捗状況について 8 5 点データ化終了 今後宗門人別帳の全容把握と写真撮影・データ化を行なう。 (2) 今後の調査計画について ア. 由井地区所在調査の現状について 予備交渉先 8 件について説明。新たな所在調査・借用は今後実施。 イ. 所在調査の方法について 編集期間・刊行期限と調査方法（悉皆・優先度の判断）の兼ね合いを検討。		

ウ．長期の調査・編集計画について

今後 3 ヶ年の具体的なスケジュールについては次回までの検討課題とする。

2．勉強会

報告者：山崎 圭委員

内 容：磯沼家文書の検討

【配布資料】

1．平成 22 年度第 2 回近世部会会議 資料

2．「磯沼家文書の検討」レジュメ

部 会 名	近現代部会 八王子市郷土資料館所蔵資料調査	開催（実施）日時 平成 22 年 3 月 30 日（火） 午前・午後 13 時 00 分～ 午前・午後 17 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	新井 勝紘	専門員氏名 中村 元
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 新井勝紘 部会委員 梅田定宏、齊藤勉、前田成東 【事務局】新井雅人 中村元	

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

1. 資料調査・目録閲覧

(1) 坂本太七家資料調査

八王子市郷土資料館に所蔵されている坂本太七家の資料のうち、戦前期の商店広告や町会・隣組関係資料などの調査をおこなった。

(2) 八王子の郷土史関係資料の調査

八王子市郷土資料館に所蔵されている八王子の郷土史関係資料の調査をおこなった。

(3) 八王子市郷土資料館所蔵資料の目録閲覧

八王子市郷土資料館に所蔵されている各種の家別文書を閲覧し、近現代の歴史資料の把握をおこなった。

2. 近現代部会の活動に関する打ち合わせ

(1) 近現代資料編 の資料選択の状況について

配布資料「近現代部資料編 の状況について」などをもとに、部会長・各部会委員より資料選択作業の現状と今後の予定につき、簡単な報告がおこなわれた。

この検討をふまえ、1月の第6回部会会議で決定した、6月までに第一次資料選択をおえるとの方針を改めて確認した。

(2) 近現代部会 平成 22 年度以降の活動について

配布資料「八王子市史編集専門部会 近現代部会 平成 22 年度～24 年度計画（案）」などをもとに、平成 23、24 年度の活動を見据えつつ、平成 22 年度の近現代部会の活動計画につき検討を行なった。

その結果、平成 22 年度には、資料編 1 編集にむけて、資料選択や目次・章立てなどの構成の検討などの具体的な作業をおこなうほか、地域の先輩研究者からの聞き取りや、多数の歴史資料を保存していることが見込まれる市内の個人・諸機関・団体などの調査なども並行して進めることを決定した。

(3) その他

今後部会で検討する必要がある課題として、掲載する資料にどのような情報を付すか(タイトル・所蔵者に加えどのような情報を記載するか)という点が挙げられた。

また部会委員が閲覧した資料のチェックリストや資料の筆耕要領については、事務局で準備をおこなうこととなった。

(4) 次回会議の日程

次回会議については、第一次資料選択の締め切りである6月末以降に日程調整をおこなうことを決定した。

【配布資料一覧】

八王子市市史編集専門部会 近現代部会 構成員一覧(平成22年3月30日現在)

近現代資料編 の資料選択の状況(平成22年3月30日現在)

八王子市市史編集専門部会 近現代部会 平成22年度～24年度計画(案)

部 会 名	平成 22 年度 第 1 回 自然 部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 5 月 18 日（火） 午前・ 午後 4 時 00 分～ 午前・ 午後 6 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	畔上能力	専門員氏名 佐藤千枝
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 畔上能力 部会委員 粕谷和夫 菱山忠三郎 新井二郎 岡崎 弘幸 【事務局】佐藤広、新井雅人、長谷部晃一、佐藤千枝	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．現在の部会活動の進捗状況報告（分野ごとに）</p> <p>（1） 植物分野（畔上部会長より報告） 八王子市域を分割したメッシュ図に基づき、フロラ（植物相）調査を始めた。 実際に屋外調査が動き出すことで課題など出てきたため、植物分野会議を近日中に開催したい。</p> <p>（2） 鳥類分野（粕谷委員より報告） 文献調査（過去の鳥類分布調査）、保全緑地調査実施中。 過去のデータのとりまとめ方が課題である。 前回中止となった野鳥観察会は秋に予定。</p> <p>（3） 哺乳類分野（岡崎委員より報告） 山岳丘陵地帯の実踏調査（痕跡調査および聞き取り調査）を実施中。 アンケート調査の実施について検討したい。</p> <p>（4） 昆虫分野（担当委員欠席のため、事務局より報告） 3月まで標本調査を集中して行った。4月からは屋外現地調査を実施中。</p> <p>2. 平成 22 年度の部会活動について</p> <p>（1） 今年度の自然部会調査活動計画について（分野ごとの調査予定）を確認。</p> <p>（2） 今年度予算執行計画についての確認。</p>		

3. 本編の具体的な構成について

事務局作成の目次案をもとに討議した。

(A 4 版・カラー・ソフトカバー・600 ページ前後とし、想定するページ数を各項目ごとに割り当てている)

- ・ 基本的には分野ごとに担当委員が執筆するが、動植物が混在する項をどのようにまとめるかが課題である。
- ・ 調査時に撮影した写真が重要となる。(本編に掲載することを認識して撮影すること)
- ・ 目録 (資料集) の重要性の再確認。

4. その他

- ・ 前担当専門員であった押田佳子氏の委員への就任報告。
- ・ 地史担当委員の決定について、事務局側で調整する予定。
- ・ 懸案事項であった金井郁夫氏資料について、今年度前半に資料を拝借する予定。

【配布資料一覧】

「平成 22 年度の自然部会活動について」

「八王子市史『自然編』本編 具体的な構成について」

部 会 名	平成 21 年度 第 6 回民俗部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 3 月 28 日（日） 午前・午後 10 時 00 分～ 午前・午後 0 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	小 川 直 之	専門員氏名 松尾 あずさ
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	小川部会長、津山副部会長、宮本部会委員、小野寺部会委員、 入江部会委員、神専門調査員、乾専門調査員、高久専門調査員 【事務局】佐藤、松尾	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
1．報告事項		
（１）写真資料調査進捗状況 須藤功『写真でみる日本生活図引』のように、昭和 30 年代を中心にした生活を写した写真とそれに関する説明を併記した報告書を 1 冊刊行したい。		
（２）入江部会委員の調査報告 平成 22 年 1 月 6 日高月町滝のセイノカミ、1 月 10 日下恩方町松竹のセイノカミ、2 月 13 日大楽寺法泉寺境内の機守白瀧稻荷大明神の初午、大谷町大善寺の機守の初午		
2．協議事項		
（１）民俗誌の調査について 恩方地区の調査を行いたい。ただし、分野によっては恩方全体（例：芸能）もしくは 1 つの集落に絞って（例：社会組織）調査するといった違いはあってよい。 民俗誌の報告書は最低 3 冊刊行したい。 民俗誌調査の分担案 社会組織 未定、生産・生業 神専門調査員、環境 津山副部会長、衣食 宮本部会委員、住居 津山副部会長、信仰 乾専門調査員、祭り 乾専門調査員・高久専門調査員、年中行事 入江部会委員（補助的に美甘専門調査員）、人生儀礼 大藪専門調査員、口承文芸・芸能 小野寺部会委員・高久専門調査員		
（２）来年度の活動予定について		
3．その他		
（１）次回部会会議の日程等 平成 22 年 4 月 25 日（日）10:00 から行う。 議題：平成 22 年度から 24 年度までの各自の調査計画の提出、分担分野の重点項目		
（２）年中行事調査の一環で、新聞折込みのチラシを 1 年分集めたい。		

< 配布資料 >

- 1 . 平成 21 年度第 6 回民俗部会会議進行内容
- 2 . 写真資料調査進捗状況
- 3 . 文献目録追加分 祭礼・年中行事編（入江部会委員作成）
- 4 . 大楽寺町法泉寺境内の機守稻荷大明神の初午行事報告、高月町滝の福の神行事と類似する行事報告（入江部会委員作成）
- 5 . 大善寺略寺誌

部 会 名	平成 22 年度 第 1 回民俗部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 4 月 25 日（日） 午前・午後 10 時 00 分～ 午前・午後 0 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	小 川 直 之	専門員氏名 松尾 あずさ
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	小川部会長、津山副部会長、宮本部会委員、小野寺部会委員、入江部会委員、大藪専門調査員、神専門調査員、美甘専門調査員、乾専門調査員 【事務局】佐藤、新井、松尾	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
1．報告事項		
（１）新部会委員の委嘱について 相模原市立博物館学芸員の加藤隆志氏に 4 月 25 日付けで委嘱する。		
（２）職員の異動について 4 月 14 日付けで長谷部晃一が主査に着任した。		
（３）本年度の活動費について 300 万円余り、延べ 270 日分相当ある。部会を年度内に 5 回開くとすると、一人あたり 19 日程度。		
2．協議事項		
（１）各委員の分担分野民俗誌の分担について 社会組織 加藤部会委員、生産・生業 神専門調査員、環境 津山副部会長、衣食 宮本部会委員、住居 津山副部会長、信仰（寺社、祭り） 乾専門調査員、年中行事 入江部会委員、人生儀礼（諸職との結びつきを絡める） 大藪専門調査員、口承文芸・芸能（囃子・芸能） 小野寺部会委員、高久専門調査員		
（２）報告書の刊行について 年中行事（美甘専門調査員担当、報告書または市史研究のどちらで掲載するか今年度中に検討） 八王子織物（宮本部会委員、神専門調査員担当） 写真資料（小川部会長担当）		
（３）民俗誌の調査と刊行予定について 恩方地区（平成 22 年度調査、平成 23 年度刊行） 浅川地区<高尾>（平成 23 年度調査、平成 24 年度刊行） 加住地区（平成 24 年度調査、平成 25 年度刊行） 由木地区（平成 25 年度調査、平成 26 年度刊行）		

旧市街地（平成 26 年度調査、平成 27 年度刊行）

（４）平成 22 年度から 24 年度までの活動計画について

本日各自が提出した計画を参考に、小川部会長が計画案をまとめる。

３．その他

（１）音のアーカイブ

本編を出すにあたり、音や人間の動きを収録したい。オーラルヒストリーや芸能など何をどのように収録するか各自考えること。

（２）諸団体へのアンケート調査

民俗芸能団体や自治会（神輿についてなど）にアンケートをとる希望あり。

（３）年中行事の新聞折込みチラシの収集

（４）合宿調査

11 月 1 日（月）～11 月 3 日（水）に合宿調査を行う。

（５）次回部会会議の日程

平成 22 年 7 月 5 日（火）午前 10：00 より行う。

< 配布資料名 >

- ・ 平成 22 年度第 1 回民俗部会会議進行内容
- ・ 調査計画書（各委員）

平成 22 年度 市史編さん室の年間事業計画

平成 21 年 12 月 1 日に決定した「八王子市史編さんの基本的な考え方 - 市史編さん基本構想 - 」、および「八王子市史編集方針」をもとに、市民の皆さん、研究者の方々と力を合わせて編さんに取り組みます。

平成 22 年度は、

【八王子に関する自然や歴史から、新たなまちの魅力を引き出す】

を目標に、前年度の 21 年度に本格化した「資料調査」と「資料編（原始・古代 / 近現代 1）の刊行準備」、市史編さん基本構想にうたわれている「市民協働」を軸に事業を展開します。

人権や環境への配慮、個人情報の適確な管理を行い、ホームページなどで業務情報の公開をすすめます。

1 編さん事業の経営管理

「八王子市史編さんの基本的な考え方 市史編さん基本構想」に基づく経営を、計画的に実行します。

- (1) 市史編さんの運営状況に関する評価の試行 < 新規 >
- (2) 市史編さん審議会の開催 < 継続 >
- (3) 市史編集委員会と市史編集専門部会会議の開催 < 継続 >

2 資料の調査・研究・収集・整理

市史編さんにおいて最も重要なことは、編さんの基礎となる有形・無形の資料の収集と保存で、次世代に良好な状態で資料を伝え、活用できる環境を整えることが大切です。

そこで、市史編集専門部会で、計画的な資料の調査・研究・収集・整理を行います。

- (1) 市史編集専門部会（原始・古代、中世、近世、近現代、自然、民俗の六つの専門部会）の運営 < 継続 >
- (2) 古文書等の資料の調査・研究と収集・整理 < 継続 >
- (3) 歴史的価値のある公文書（行政文書）の収集・保存 < 継続 >
- (4) 編さんや八王子に関する文献等の収集 < 継続 >

3 資料の保存と管理

編さん室の収蔵庫で、実物資料等の保存・管理につとめています。実物を収蔵できない資料などは、マイクロフィルム撮影などを行い、記録として残し活用を図ります。

- (1) マイクロフィルム撮影<継続>
- (2) 古文書保存箱の使用<継続>
- (3) 資料の燻蒸(殺虫処理など)<新規>

4 事業や成果の普及・活用

編さん事業の意義や進行状況、調査・研究の成果は、市民や関係者の方々に理解していただくため、印刷物や講座などで公開します。

さらに、関連する市民団体、大学等との連携・協働をすすめるとともに、市役所内の連携体制の整備を図りながら、事業を実施します。

- (1) 『八王子市史研究』の発行<新規>
- (2) 市民ボランティアの実施<新規>
- (3) 市民講座の開催<継続>
- (4) 八王子学園都市大学「いちょう塾」への企画提供<継続>
- (5) 「八王子市市史編さん室だより 稲荷山通信」の発行<継続>

「市史研究創刊号」の概要について

1. 名 称 「八王子市史研究」
2. 発行部数 1,500部
3. 規 格
 - (1) 大きさ A5判
 - (2) ページ数 150ページ程度
 - (3) 段 組 1段組と2段組の併用とする
下記4.(2)~(4) 1段組 50字×20行
下記4.(5)(6) 2段組 25字×20行×2段
 - (4) ポイント 本文は10ポイントとし、注書は8ポイントとする。
4. 掲載内容、分量
 - (1) 口絵
 - ア. 掲載論文等に関連した古文書の写真を載せる。
 - イ. 絵画、美術工芸品、古文書、古写真等を載せる。
 - ウ. 八王子市域の文化財をシリーズ化して掲載する。
4ページ
 - (2) 刊行に際して
 - ア. 市長 2,000字程度(2ページ)
 - イ. 審議会長、編集委員長 各4,000字程度(各4ページ)
計10ページ
 - (3) 特集
掲載は3本 1本あたり8,000字程度とする。 $8 \times 3 =$ 計24ページ
ページ内に図版も含む。
 - (4) 論文等(論文・調査報告)
 - ア. 論文は3本 1本あたり16,000字程度とする。 $16 \times 3 =$ 計48ページ
 - イ. 調査報告は2本 1本あたり8,000字程度とする、 $8 \times 2 =$ 計16ページ
 - (5) 資料紹介
ア. 2本 1本あたり8,000字程度とする。 $8 \times 2 =$ 計16ページ
 - (6) 市史編さん覚書
20ページ程度

5. ホームページ掲載について

目次のみホームページに掲載する。

6. 刊行スケジュールについて

6月1～30日	原稿執筆依頼
6月15日	市民投稿原稿募集（広報、稲荷山通信等）
9月29日	市民投稿原稿締め切り
10月1～20日	市民投稿原稿 査読、審査
10月15日	依頼原稿締め切り
10月21～11月19日	編集
11月30日	印刷業者入札
12月10日	入稿
12月24日～2月10日	校正
2月14日～3月10日	印刷
3月11日	納品
3月15日	刊行・発送

編集工程の詳細及びスケジュールについては状況に応じて変更の可能性があります。

市史研究創刊号割付表(仮)

平成22年5月13日現在

No.	区 分	表 題	執筆予定者	字数	頁数	備考
1	表紙	表紙			2	
2	口絵	口絵			4	
2	扉	扉			2	
3	目次	目次	事務局		4	
4	刊行に際して	扉			2	
5	刊行に際して	都市経営と歴史 - 市史研究の創刊にあたって	市長 黒須 隆一	2,000	2	
6	刊行に際して	歴史研究と地域(仮)	審議会長 松尾 正人	4,000	4	
7	刊行に際して	史料から読み取ること(仮)	編集委員長 藤田 覚	4,000	4	
8	特集	扉			2	
9	特集	自治体運営における市史編さんの役割(仮)	青山 侑(仮)	8,000	8	
10	特集	政策研究と資料(仮)	都市政策研究所長 原島 一	8,000	8	
11	特集	依頼原稿	近現代部会 前田 成東	8,000	8	
12	論文等	依頼原稿	原始・古代部会 関 和彦	16,000	16	
13	論文等	依頼原稿	原始・古代部会	16,000	16	
14	論文等	投稿原稿	(公募)	16,000	16	
15	論文等	依頼原稿	近現代部会(近代)	8,000	8	
16	論文等	投稿原稿	(公募)	8,000	8	
17	資料紹介	依頼原稿	民俗部会	8,000	8	
18	資料紹介	依頼原稿	中世部会	8,000	8	
19	市史編さん覚書	扉			2	
20	市史編さん覚書	市史編さん基本構想	事務局		3	
21	市史編さん覚書	市史編集方針	事務局		1	
22	市史編さん覚書	市史編さん組織	事務局		1	
23	市史編さん覚書	市史編さん室日誌	事務局		12	
24	編集後記	編集後記			1	
25	奥付	奥付	事務局		1	
計					151	

市史研究の原稿を募集しています

『八王子市史研究』（仮称）創刊号 原稿募集要項

1. 原稿内容

市史編さん室では、今年度『八王子市史研究』（仮称）を創刊するにあたり、創刊号に掲載するための原稿を、広く市民のみなさまから募集します。内容は八王子の歴史や自然に関する未発表の論文や調査報告など、下記（１）～（３）に該当する原稿が対象です。

（１）論文 過去の関係する研究成果を踏まえ、新しい見解が示されたもの。

（２）調査報告 自ら調査し、分析した成果を報告するもの。ただし、調査や研究活動そのものに関する記録などでも可とします。

（３）その他 これまでの市史編さんや、八王子の歴史および自然に関する随想など。

2. 原稿枚数

論文 16,000字以内（400字詰原稿用紙に換算して40枚以内）

調査報告 8,000字以内（400字詰原稿用紙に換算して20枚以内）

その他 8,000字以内（400字詰原稿用紙に換算して20枚以内）

3. 投稿方法

投稿原稿はオリジナル原稿のほかコピーを2部添付してください。ワープロ原稿の場合は、USBメモリ等の電子データが入力された媒体（メディア）のほか、紙に打ち出した原稿を2部添付してください。

送付の際は、郵便番号、住所、氏名、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを明記の上、必ず書留で市史編さん室に送付してください。電子メールでの投稿は受け付けませんので、ご注意ください。また、送付いただいた書類は返却いたしませんので、応募される場合は必ずお手元に控えを残してください。

なお、応募される方は必ず事前に市史編さん室へ連絡してください。

4. 応募期限

平成22年9月29日（水）必着

5. 原稿審査

投稿原稿は、八王子市市史編集委員会の厳正な審査により、採否を決定します。審査にあたっては、『話題の妥当性』、『方法の適切さ』、『論理展開や結論の明確さ』、『八王子の歴史や自然研究との関係性』などを基準とします。

審査の結果により、原稿の修正をお願いする場合があります。採否の結果は審査終了後の10月下旬頃に、事務局からお知らせします。

6. 発行予定

平成23年3月

7. その他

『八王子市史研究』に投稿論文等が掲載された方には、掲載誌5冊を差し上げる予定です。

8. 原稿送付先・お問い合わせ先

八王子市総合政策部市史編さん室

〒193-0943 八王子市寺田町1455-3

電話 042-666-1511

FAX 042-666-1512

市史本編・資料編刊行に伴う統一事項について（案）

資料 4

項目	資料編	本編
名 称	(案) 八王子市史 新八王子市史 新編 八王子市史 新修 八王子市史 等 資料編 資料編 等	(案) 八王子市史 新八王子市史 新編 八王子市史 新修 八王子市史 等 本編 (上)(下) 等
判 型	原則 A 5 判縦書き (原始・古代資料編 A 4 判横書き) 編集方針で決定済	原則 A 5 判縦書き (自然編は A 4 判横書き) 編集方針で決定済
ページ数	1,000 ページ程度 編集方針で決定済	800 ページ以内 編集方針で決定済
部 数	(案) 各巻 2,000 部	(案) 各巻 2,000 部
頒布方法	(案) 市政資料室、市内書店等で販売 (有償) 約 1,200 部 関係者、関係機関等へ送付 (無償) 約 800 部	(案) 市政資料室、市内書店等で販売 (有償) 約 1,200 部 関係者、関係機関等へ送付 (無償) 約 800 部
装 丁	(案) 上製本、糸かがり、丸背、表紙クロス張り、背文字金箔押し 外函なし、カバー 4 色刷、スピン (ひも栞) 1 本付き	(案) 上製本、糸かがり、丸背、表紙クロス張り、背文字金箔押し 外函なし、カバー 4 色刷、スピン (ひも栞) 1 本付き
本文文字 及び段組	(案) 原則 10ポイント 2 段組 段組は編集方針で決定済	(案) 原則 10ポイント 1 段組 段組は編集方針で決定済
デザイン	(案) カバー写真使用、	(案) カバー写真使用、
口 絵	(案) カラー 4 色刷 8 p 程度	(案) カラー 4 色刷 8 p 程度
掲載内容 (本文以外)	(案) 刊行にあたって (市長) 刊行にあたって (編集委員会委員長) はじめに (専門部会長) 目次・凡例 協力者一覧 執筆者一覧 市史編さん関係者名簿 編集後記 (事務局)	(案) 刊行にあたって (市長) 刊行にあたって (編集委員会委員長) はじめに (専門部会長) 目次・凡例 協力者一覧 執筆者一覧 市史編さん関係者名簿 編集後記 (事務局) + 年表 索引 等